

危険体感実践研修



平成29年6月27日（火）にサンメッセ香川で開催された、危険体感実施研修プログラムに参加し、安全作業の重要性を実践しながら、学ぶことができました。

研修内容

体感研修

- ・シートベルト模擬衝撃体感研修
- ・年齢体力自覚体感研修
- ・熱中症対策・脱水症状の危険研修
- ・感電、墜落、挟まれ体感研修
- ・無理な体勢での作業による梯子滑り体感研修
- ・高所作業車逸走に関する体感研修

研修の様子



シートベルト体感研修ではエアバック作動時の衝撃を体感、シートベルトの重要性を再認識できました。



濡れた手での作業による感電を体験しました。100Vの電気の強さを実感しました。



高所作業車感電の模型で感電の仕組みを学びました。正しい手順での設置が必要です。



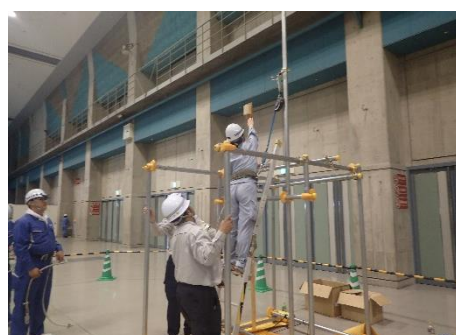
年齢体力自覚体感研修では光をみてジャンプ！全身反応時間を測定しました。



こちらも年齢体力自覚体感研修障害物を乗り越えながら平均台を渡ります。



年齢体力自覚の為、目をつぶった状態で片足立ち、何秒耐えられるか測定します。



無理な体勢での作業による梯子滑りの危険性を学びました。



墜落体感研修では安全帯の重要性を実感しました。



高所作業車逸走を体感、みんなの力を合わせても止まりません!!

参加者感想

参加者感想文の一部を紹介します。



香西理志

危険体験研修を終えて身近な危険がたくさんあることが分かりました。いつも仕事中に当たり前のように使う脚立や梯子にも使う位置や無理な体勢での作業では脚立が滑ってしまって転落するなど実際滑ってしまう体験をして改めて危険と分かりました。またその時安全帯を使用するのとなしないのでは大きなケガにつながると分かりました。自分も仕事の時少しの高さの脚立に上がるだけだからと安全帯をしなくて多々ありますが、少しの高さでも落ち方によっては大きなケガをしてしまうので、安全帯は必ず使用すると決めました。あまり使用することのない高所作業車の設置の手順を忘れていました、3種類の不適切な使用方法を学び間違ったやり方だと坂道で逸走してしまうのを直接見るのができ怖いと思いました。電気に直接触る研修もありました。自分は電気が通っている状態で作業するときがあるが、あまり気にせず作業することがありました。100Vでも不意に体に流れると痛いですし、大きな電圧になると大変になるので気を付けて仕事をしていきたいです。



山崎雄介

感電のコーナーでは実際に100Vの電流が流れたらどうなるかを体験しました。流れた瞬間に手を放しましたが、これがさらに高圧になると手が放せなくなるという話を聞き、電気の恐ろしさを改めて思い知りました。熱中症コーナーではこれからの季節における水分と塩分の重要性について学びました、自分は暑さに弱いので、これからは水筒やスポーツリンクを携帯することを心掛けようと思いました。梯子滑りの体験では、あらかじめ落ちると分かっているつもりでもいざその瞬間になると全く対応出来ずそのような事態にならないよう無理な体勢での作業はしてはいけないことを経験しました。日々の仕事の中でおろそかにしがちなことの重要性を、今回の研修で再確認することができました。これからも無事故無災害でいるために、今回学んだことを忘れず仕事で活かしていきたいと思います。



保井亜佑美

熱中症に関して認識が甘く、私は大丈夫だろうという気持ちがありましたが、この時期、建物内で作業をしていて脚立の昇り降りしているだけでも、汗をかいていたので、休憩時には水分と塩分の補給をしないとイケないなど再認識しました。年齢体力自覚体験では、全身反応時間の測定をした際目で見てから体が動き出すまでの反応時間が結構かかったのも、自分が気が付かないうちに体力年齢が落ちていたんだと少しショックをうけました。高所作業車に関する危険体感ブースでは手順を間違えて作業すると逸走する体験をしました、今度高所作業車の講習を受けに行くので手順をしっかりと確認し、安全作業で従事したいです。今回の研修を通して安全帯の重要性、熱中症対策の大切さ等を再確認し、現場で作業する際は、安全第一で作業していきます。



河田翔也

自分がまず初めにこの研修で感じたことは安全帯の重要性です。安全帯を使用することで、自分の命を守るだけでなく、第三者への被害も守ることができることを学びました。付け方も大切で、脚立の裏から通して使用するかどうかや、付ける向きなども学ぶことができたので、これからの現場作業に活かしていきたいです。次に印象深かったのは乾いている時と、濡れている時の電気の強さです。乾いている状態ではあまり感じない電流も濡れているとかなりビリビリと電気が流れてくるのが分かりました。雨の日の作業も時折あるので気を付けて作業に取り組むことがとても大切であると感じました。最後に脚立の適正使用についてです。脚立で作業することは常に危険と隣合わせであり、使用してはいけない向きや天板で作業をしてしまうと落下事故が起きてしまい、重大なケガにつながってしまうことがあると学びました。上記以外にも、たくさんのことを学べた、とても充実した研修になりました。



山崎知夏

今回の危険体感研修を受けて思った事は、きちんとルールを守って作業しないと危険なことがたくさんあることが分かりました。もし安全帯を付けずに電柱に上って作業していて落下したらどのくらい危険か、脚立に上って無理な体勢で作業をしたらどうなるのか、作業中はこまめな水分補給をしなければ熱中症の危険があること、作業車にタイヤ止めをしていなければどうなるのか、シートベルトをきちんとつけて運転をしていたら、事故をした時も助かりやすいことも体験できました。この危険体感研修を通してひとつひとつの事に心がけなければ、危険なことがたくさんあることを学びました。安全確認することもきちんと声を掛け合うことも大切なのだと思います。現場に出る機会があれば学んだことを活かし安全に頑張りたいです。